

The background image shows the exterior of a building with a large mural. The mural features a blue whale in the foreground, a volcano in the middle ground, and a blue leaf in the background. The sky is light blue with small yellow and blue fish-like shapes. A semi-transparent blue banner is overlaid on the top half of the image.

成果報告会

餅ヶ浜保育園

彌田昌克 副園長

Topics

- 01 園の紹介**
- 02 働き方改革を推進した背景**
- 03 今回の取り組み**
 - ・ 課題把握
 - ・ 施策実践とその効果
- 04 総括とこれから**

01

園の紹介

園の紹介

施設名	餅ヶ浜保育園
種別	認可保育所
設置主体	社会福祉法人徳丸福社会
住所	別府市餅ヶ浜町2番6号
設立日	昭和47年4月（48年目）
定員	140名
職員数	32名（2020年1月時点）



園の紹介 ～施設紹介～



車掌車

園舎と園庭



園庭にある小山



園の紹介 ～保育活動(1)～



園の紹介 ～保育活動(2)～

発表会



園庭でのラグビー遊び



園の紹介 ～保育活動(3)～

海辺遊び



芋掘り体験



稲刈り体験



02

働き方改革を推進した背景

働き方改革を推進した背景(1)

一般企業での経験（11年間）



事業継承の準備



働き方改革を推進した背景(2)

休憩が取れない



保育に固定観念がある



意見しづらい



03

今回の取り組み

- ・ 施策実践
- ・ 効果検証

今回の取り組み ～現状把握(1)～

まず、現状についてアンケートを実施



従業員全員を対象に

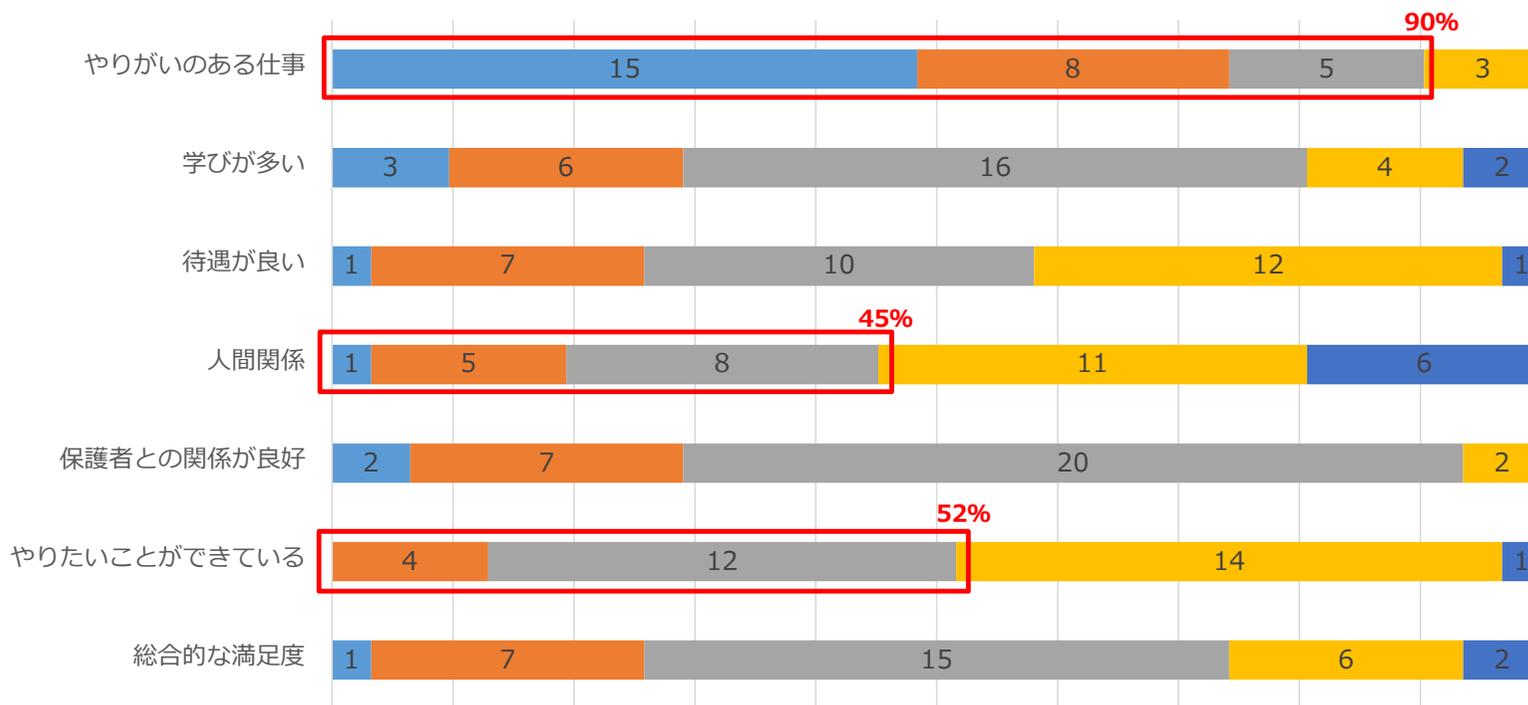
- ・ 仕事に対する満足度
- ・ 経営サイドに対して思っていること
- ・ 時間短縮できたらよいと思うもの

などを確認

【参考】アンケート結果①

質問項目：職場に対する、現状の満足度（項目別）

（単位：人、n=31） 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



保育という職種に関する満足度は高い

人間関係に関する評価が一番低かった

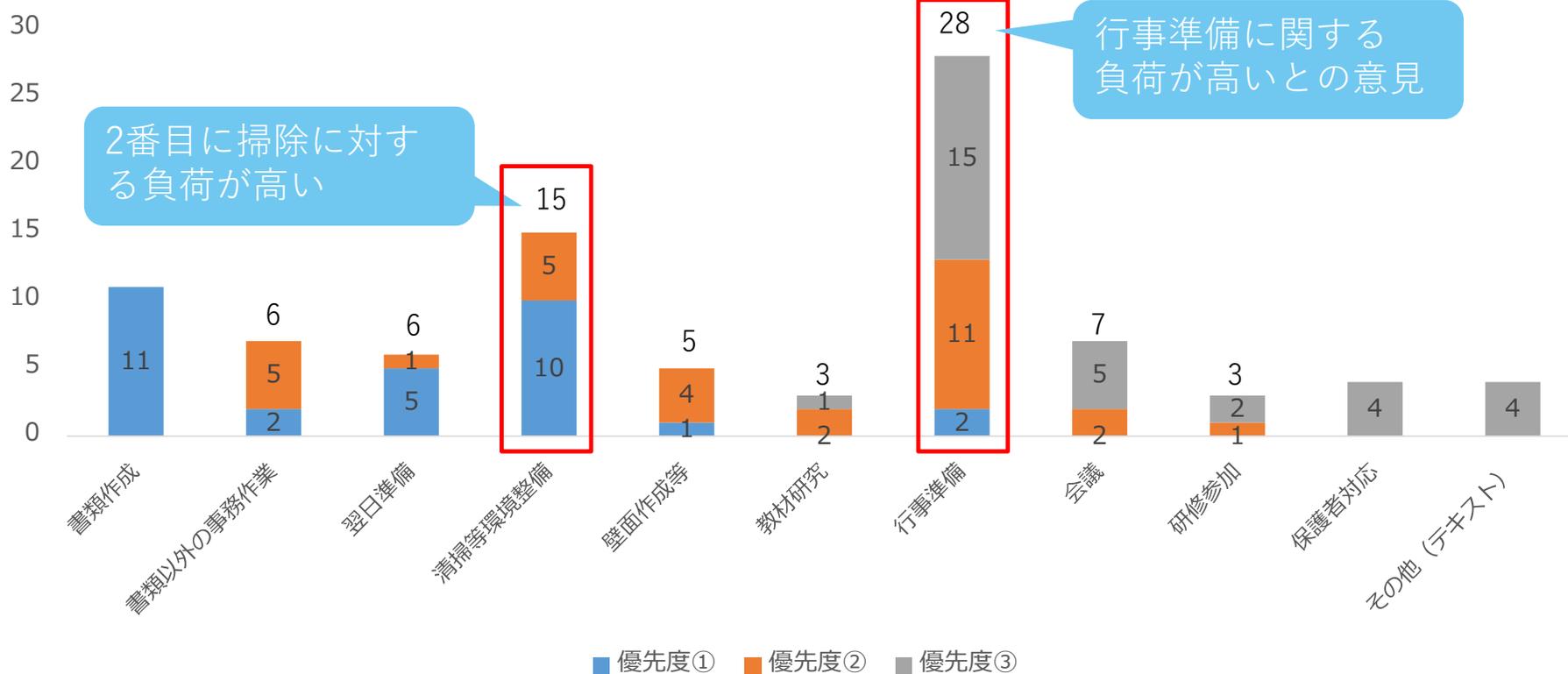
本人が望む仕事ができいないとの評価がでた

※上記の赤字%は、3～5評価の合計割合となる

【参考】アンケート結果②

質問項目：時間短縮できたらよい業務（項目別）

（単位：人、n=63）、※（31人×3回答）



今回の取り組み ～現状把握(2)～

良かった点

- スタッフが率直な意見を記載してくれた
- 現場で負荷が高い業務が判明した
⇒行事と清掃



悪かった点

- やりたいこと = 自発的な仕事ができない環境だということが分かった
- 経営サイドに対する不満が高まっていることが分かった
- 様々な意思疎通について、課題があることが分かった

今回の取り組み ～現状把握(3)～

アンケート結果を通して様々な課題が分かりました。

また、根本として現場スタッフと意思疎通ができていなかったことが浮き彫りになり、とても辛い思いをしました。

今回の試みが2月までの短期間ということもあり、課題の選択と集中を行うアドバイスも周りからいただき、大きなパワーをかける必要を強く認識しました。

理解を求めながら短期間で結果を出すのは難しいと感じましたが、やるしかない・・・！！

今回の取り組み ～目的・目標～

目的

仕事に誇りを持ちスタッフが定年まで働き続けられる、自ら改善提案ができる園運営づくり

目標

- ①経営サイドと現場スタッフのコミュニケーションの円滑化
- ②保育以外の時間を保育時間へ転換させ、休憩時間を確保

目標①、②それぞれで施策を実施

施策実践 ～目標①の施策～

■意思決定フロー

【改善意図】

これまでトップダウンで様々な決め事を行っていた。その為、“保育運営チーム”として、意思決定ができるようにフローの見直しを行う。併せて、スタッフの意見を聞く仕組みを整備する。

【具体策】

- ・意思決定会議
主任MTG、副主任MTGと会議をした上で、職員会議にて意思決定を行う。
事前に議題を共有し、アウトリーチ&参加型MTGにより意見を出しやすい環境を整備。
- ・年2回の全スタッフ面談の実施

経営サイドが現場の意見を聞くという姿勢を示し続ける。

1対1面談の実施



施策実践 ～目標②の施策(1)～

■ 掃除箇所の簡易化

【改善意図】

現場スタッフの掃除負荷が高かった。
特に園の外周や園庭の掃除に対して、
ルールが曖昧な上に前例踏襲を積み重ね、
振り返りがされていなかった。

【具体】

- ・ 実行日 : 毎日⇒火・木曜日の2日に圧縮
- ・ 清掃範囲 : グラウンド、駐車場、外周
⇒ 駐車場、外周
※ グラウンドは子どもたちと実施
- ・ 時間 : 時間定義なし⇒10～15分以内
- ・ その他 : 春は桜の花びら、秋は落ち葉
拾いは別途保育化を目指し調整



外周の掃除

園庭の掃除



施策実践 ～目標②の施策(2)～

■休憩の定義化

【改善意図】

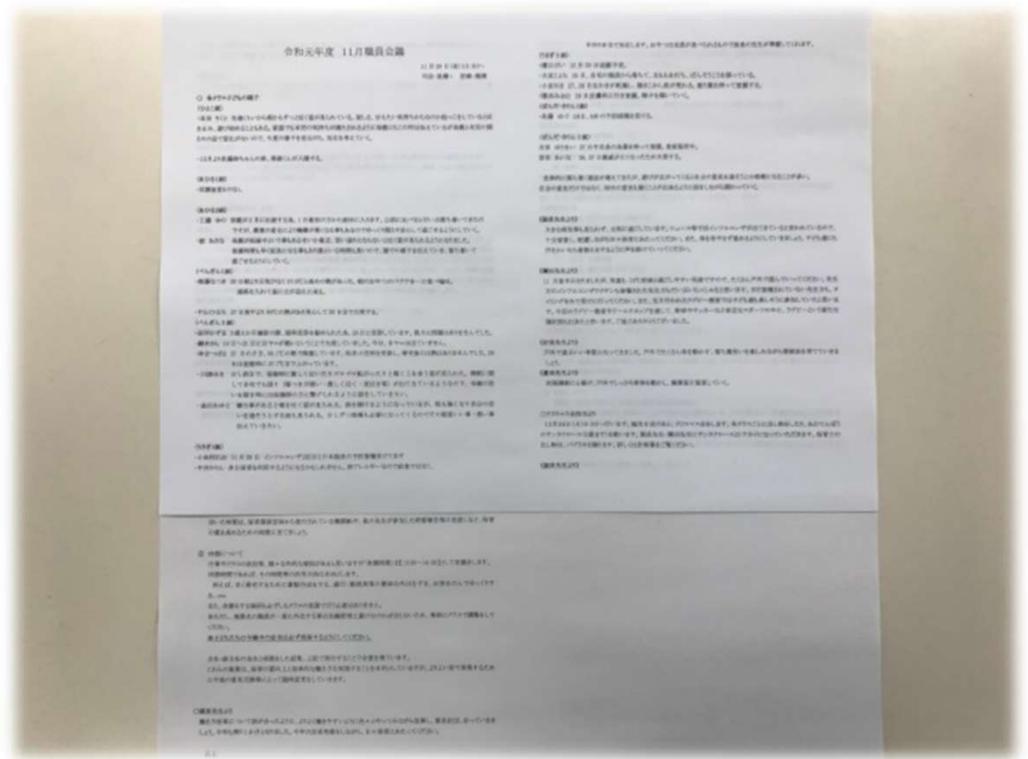
そもそも「休憩」という概念が無く、午睡中に午睡チェックと兼ねている。保育の業界的に難しいといわれていて、問題意識がなかった。

【具体】

まずは休憩の定義化から行き、「休憩」を知ってもらうことから始めた。強制力は持たせず“ガイドライン”という位置づけでスモールスタートを実施。

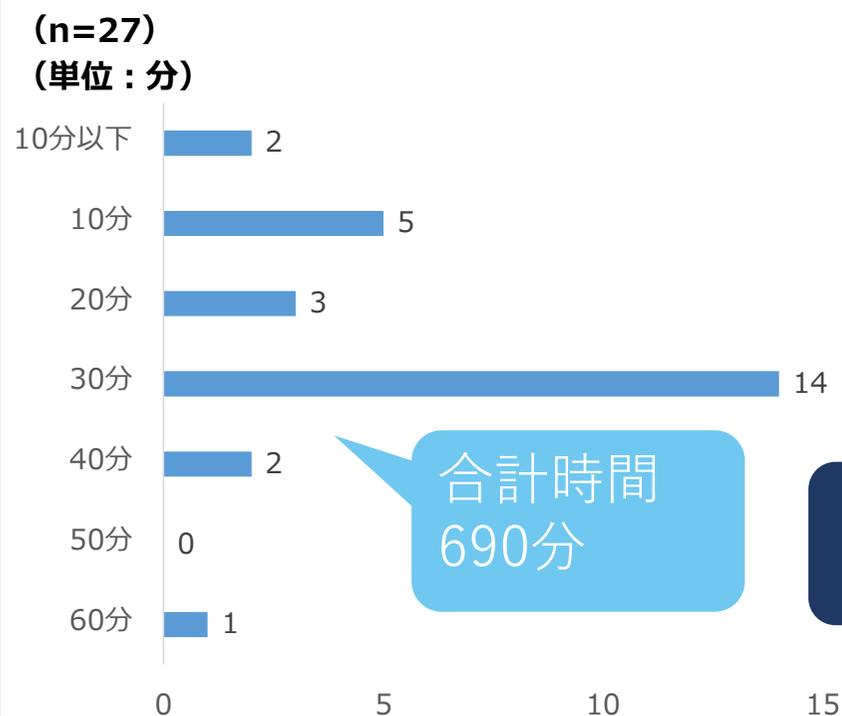
- ・ 時間帯 : 13:30~14:30
- ・ 内容 : 時間の活用方法は自由とする
⇒書類作成、銀行等の外出
- ・ 場所 : 問わない
⇒ノンコンタクトタイムに繋げる

議事録での共有



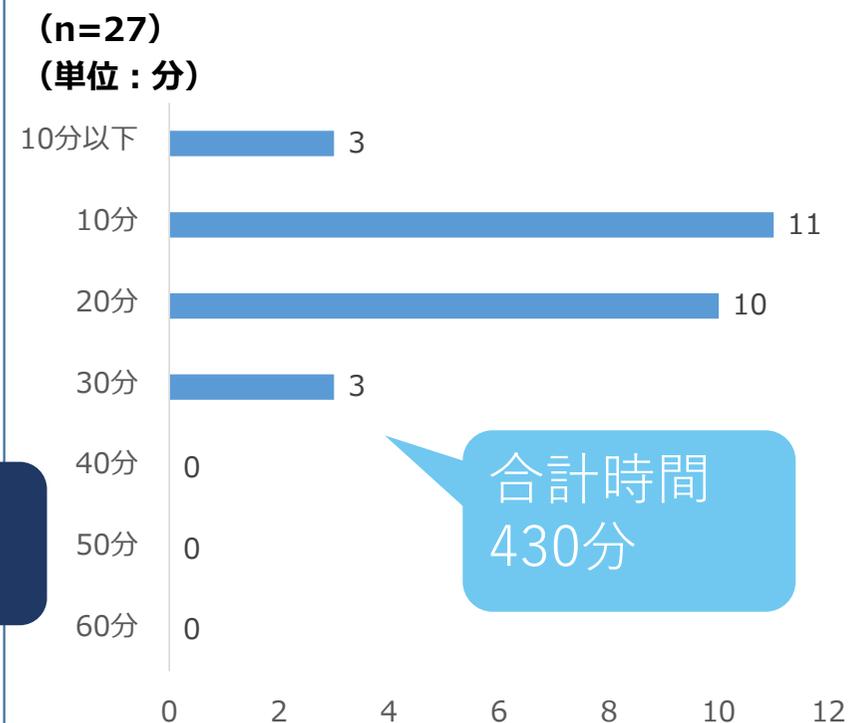
効果検証：アンケート(掃除改善)

改善前の掃除時間（1日あたり）



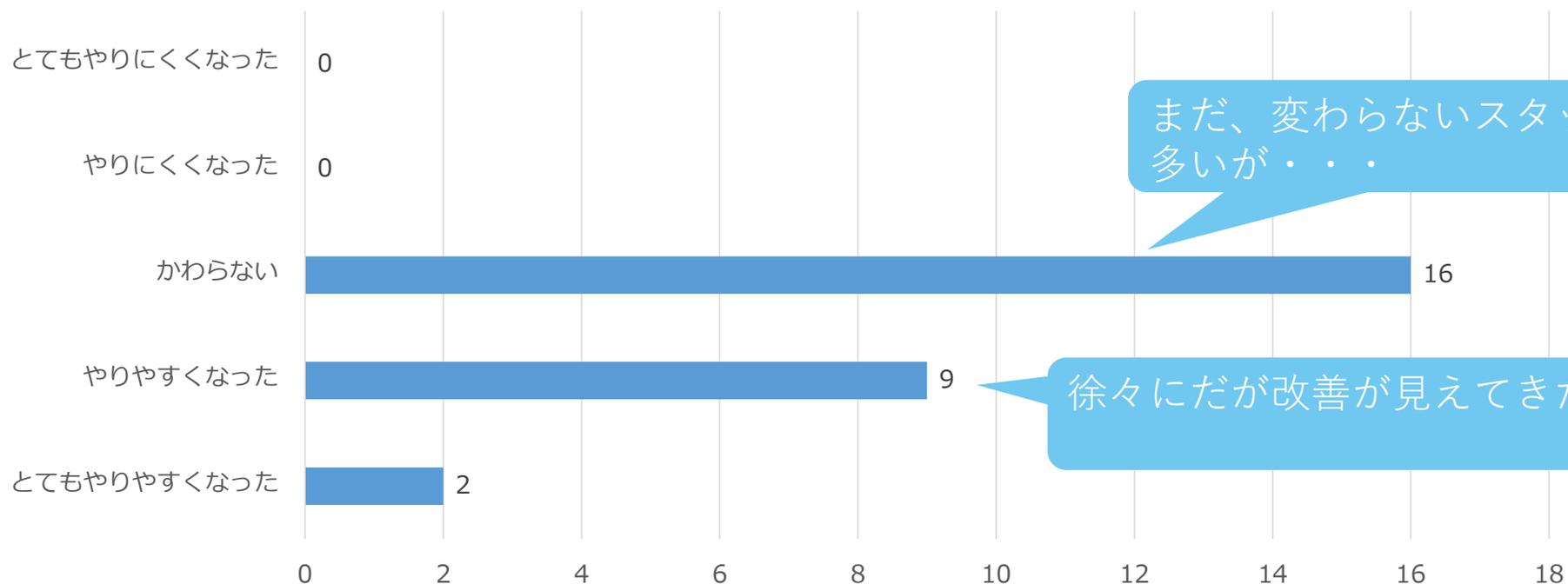
260分/日
の削減

改善後の掃除時間（1日あたり）



効果検証：アンケート(休憩状況)

取り組み前と比べて、休憩が取れるようになったか？



まだ、変わらないスタッフも多いが・・・

徐々にだが改善が見えてきた

効果検証：スタッフ意見

ポジティブワード

- 話やすい雰囲気が出た
- 仕組みが出た
- 休憩を取りやすい
- 時間が決まったので他の仕事へスムーズに移れるようになった
- 意見を伝える事ができた

ネガティブワード

- 変化が見られない
- 方向性の不一致
- 何の意見も聞き入れてもらえない
- 取り組みに賛成していない人がいる
- 特に変化はない

04

総括とこれから

総括

課題に対して真摯に向き合ってよかった。

また、この取り組みを通じ、いろいろな人が自園について客観的な意見をしてくれたので自園の良さもわかった。

保育の可能性を強く感じるとともに、私自身、園運営の質の強化に対して使命感が強くなった。まだスタートラインに立ったに過ぎないが、継続してあるべき姿を追い求めていきたいと考える。

コンサルテーションにあった「保育を一生の仕事に」という言葉を胸に、単なる効率化に終わらず、保育の質向上を実現していきたい。

これから

- ICTの活用
※保育の質向上へのアプローチを設計に組み込んでいるものを選択
- ノンコンタクトタイム用として使える部屋の整備
- スタッフ研修等、外部機関との連携

AIを活用した画像解析型SIDS対策



ノンコンタクトタイムの場所確保



END OF DOCUMENT